

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学と精神医療 A (精神疾患とその治療 1)		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
永井 正則	C307	mnagai		火曜日 12:30-14:30	
授業の目的・概要	[目的]精神医学の基礎となる脳の解剖・生理、心の働き、精神疾患の概念と分類などについて学び、精神保健福祉士をはじめとする福祉職や公認心理士として将来現場に立つときの基礎知識と応用力を身に着つける。[概要]授業後にリアクションペーパーを提出する。リアクションペーパーには、授業で理解した点や理解しにくかった点、質問などを記入する。質問には次回以降の授業時に回答する。Microsoft Teams を用いた質問も随時受け付ける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	毎回配布する講義資料に基づいて講義するので、資料の内容をしっかりと理解するように努めてほしい。生理学や心理学など関連科目の知識も必要となるので、これらの科目の学習を並行して行ってほしい。				
教科書	最新精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療/ 著:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/ 中央法規/ 2021				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神疾患の理解に必要な神経系の構造と働きを理解し、説明できる。			HC(1)、HC(3)	
②	精神疾患の概念と症状、診断について理解し、説明できる。			HC(1)、HC(3)	
③	精神医療の在り方、現状について理解し、説明できる。			HC(1)、HC(3)	
④	精神医療における他職種との関わりを理解し、説明できる。			HC(1)、HC(3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	精神疾患概論① 精神医学の歴史: 古代から現代までの精神医学の変遷の概要を学ぶ。	講義	教科書第1章第1節を予習する。配布資料の復習をする。	4	
2	精神疾患概論②日本における精神医学の歴史、精神疾患の概念、精神疾患の動向について学ぶ。	講義	教科書第1章第1節、第6章第1節を予習する。配布資料の復習をする。	4	
3	精神疾患概論③ 精神現象の生物学的基礎: ニューロンの働き①; ニューロンの機能的構成、信号発生などについて学ぶ。	講義	教科書第1章第2節を予習する。配布資料の復習をする	4	
4	精神疾患概論④ 精神現象の生物学的基礎: ニューロンの働き②; ニューロンによる情報伝達のメカニズムを学ぶ。受容体刺激薬や遮断薬などの精神医療への応用例について学ぶ。	講義	教科書第1章第2節、第3章第2節を予習する。配布資料の復習をする	4	
5	精神疾患概論⑤ 精神現象の生物学的基礎: 末梢神経、脳神経、体性神経系、自律神経系について学ぶ。	講義	教科書第1章第2節を予習する。配布資料の復習をする	4	
6	精神疾患概論⑥ 精神現象の生物学的基礎: 中枢神経系①; 延髄、橋、中脳、視床、視床下部; 中枢神経系の発生とそれぞれの部位の役割を学ぶ。	講義	教科書第1章第2節を予習する。配布資料の復習をする	4	
7	精神疾患概論⑦ 精神現象の生物学的基礎: 中枢神経系②: 小脳、大脳皮質; 小脳と手続き記憶、大脳皮質の機能局在、大脳半球の左右差などについて学ぶ。	講義		4	
8	精神疾患概論⑧ 精神現象の生物学的基礎: 中枢神経系③: 大脳皮質; 精神疾患と大脳皮質の機能との関連について学ぶ	講義		4	
9	精神疾患概論⑨ 精神現象の生物学的基礎: 中枢神経系④: 大脳辺縁系; 海と記憶、大脳辺縁系と情動などについて学ぶ。	講義		4	
10	精神疾患概論⑩ 心の理解①: 心の理解についてさまざまな考え方を学ぶ。	講義		4	
11	精神疾患概論⑩ 心の理解②: 心の理解についてさまざまな考え方を学ぶ。パーソナリティーの考え方、精神分析から見た心	講義	4		
12	精神障害の理解: 精神障害の概念、精神疾患の成因と分類について学ぶ。	講義	教科書第1章第3節、第4節を予習する。配布資料の復習をする。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

13	精神疾患の症状と診断① 精神症状について学ぶ。意識、知覚、記憶、見当識、思考、感情、意欲の障害について学ぶ。	講義	教科書第1章第3節を予習する。配布資料の復習をする。				4
14	精神疾患の症状と診断② 精神症状について学ぶ。意識、知覚、記憶、見当識、思考、感情、意欲の障害について学ぶ。	講義	教科書第1章第5節を予習する。配布資料の復習をする。				4
15	精神疾患の症状と診断② 診断の手順と方法、心理検査と身体的検査について学ぶ。	講義	教科書第1章第5節を予習する。配布資料の復習をする。				4
試	定期試験：達成度評価・評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	15	0	0	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	5	0	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	15	0	0	0	0	15
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験による定期試験の成績で評価する。9回目の授業内容が終了した段階で前半問題集を配布する。13回目の講義終了後に後半問題集を配布する。期末試験はこのふたつの問題集から出題する。				定期試験終了後に試験問題の解答と解説を Teams 上で配信する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当教員は学位（医学博士）を取得したのち、山梨医科大学（現：山梨大学医学部）や山梨県環境科学研究所で教育と研究に携わった。その間、マックス・プランク生理学・臨床医学研究所（ドイツ）とニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）においても研究を行った。精神医学に関連した研究では、「不安や鬱が甘味感受性に与える影響」、「不安が姿勢維持機能に与える影響」、「成人のアスペルガー症候群における姿勢維持機能の特徴」などを行った。						

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

実践的授業の内容	神経疾患や精神疾患の症状が表現されている文学作品や絵画、映画などを授業中に取り上げ解説する。これにより、脳のはたらきとその疾患をより身近に、より具体的に理解する助けとする。また、講義内容と関連した精神保健福祉士の国家試験過去問も随時紹介していく。
そ の 他	授業態度に問題がある場合は退室してもらいます。